

第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 障スポ」リハーサル大会
ボッチャ競技実施要領

1 競技規則

令和 9（2027）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

座位選手は車いすまたは椅子座位、立位選手は立位（杖等使用可）での個人戦と、主催者が決めたペアでのペア戦を行う。

【個人戦】

- (1) 3 人又は 4 人のプールに分かれ、各プールにてリーグ戦を行う。
なお、競技スタイルでプール分けを行い、障害区分は考慮しない。
- (2) 試合は 1 対 1 の個人戦を 2 エンド行い、2 エンドの総得点で勝敗を決定する。2 エンド終了後に同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- (3) ジャックボールを含めた 1 エンドあたりの投球持ち時間の合計は、5 分とする。タイブレイク（ファイナルショット制度）では、1 分とする。
- (4) リーグ戦終了後、座位・立位の上位選手による試合を行う。なお、詳細は参加選手数に応じ主催者が決定する。

【ペア戦】

- (1) チームの構成は男女の区別なく 2 人 1 組とする。
- (2) チームの 1 人は、キャプテンとして腕章を装着して試合を行う。
- (3) 3 ペア又は 4 ペアのプールに分かれ、各プールにてリーグ戦を行う。なお、プール分けに際して障害区分は考慮しない。
- (4) 試合は 2 対 2 のペア戦を 2 エンド行い、2 エンドの総得点で勝敗を決定する。2 エンド終了後に同点の場合は、タイブレイク（各チームの任意の選手によるファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- (5) ジャックボールを含めた 1 エンドあたりの各チームの投球持ち時間の合計は、5 分とする。タイブレイク（ファイナルショット制度）では、1 分とする。

3 スポーツアシスタント・ランプオペレーター・コーチ

- (1) 移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にはスポーツアシスタントが、ランプ使用者にはランプオペレーターが認められる。

- (2) スポーツアシスタント及びランプオペレーターは、移動すること、方向を変えること、投球することに対して補助するものであって、選手の意思を離れて競技に介入することはできない。
- (3) 試合に出場するには、コーチ（監督又は監督兼務のコーチ）を1名配置することができる。

4 コート

- (1) コートの大きさは12.5m×6.0mとする。
- (2) コートのラインテープはボックスサイドライン、ターゲットボックス、クロスには2.0cm幅、それ以外は4.0cm幅の白色ラインテープを使用する。
- (3) 競技にて使用するスローイングボックスは2番、3番、4番、5番とする。

5 ボール

- (1) 主催者にてボールを用意する。
- (2) 個人所有のボールを使用する場合は、チームで1セットのみ試合に持ち込むことができる。（個人戦の場合は個人で1セット。）

6 用具検査

- (1) 用具検査はウォーミングアップ時にランダムチェックにて実施する。
- (2) 検査の結果、基準を満たしていないと判断された競技用具は、試合では使用できない。なお、ボールが基準を満たしていないと判断された場合、試合では主催者が用意するボールを使用しなければならない。

7 ウォーミングアップ

ウォーミングアップは、試合を行うコートにて各プールの第1試合開始前に30分程度行うことができる。また、各試合開始前に2分間ウォーミングアップの時間を設ける。

8 招集

- (1) 選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーター及びコーチ（監督又は監督兼務のコーチ）は、試合開始20分前から10分前の間に、使用する競技用具を持参のうえ招集所に入ること。
- (2) 招集時間に現れなかった選手は原則として棄権とみなし、試合に出場できない。また、招集時間に現れなかったスポーツアシスタント・ランプオペレーター、コーチ（監督

又は監督兼務のコーチ）は原則として試合に参加できず、招集所に持参されなかった競技用具は試合では使用できないものとする。

- (3) 招集所には選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーター及びコーチ以外は入ることができない。

9 番号布(ゼッケン)

番号布は選手に1枚、スポーツアシスタント・ランプオペレーターに1枚配付する。

選手は胸か足（前面）、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは背中に番号布を取り付けることとする。番号布を付けていない選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは招集時での受付ができないので注意すること。

10 競技進行

競技時間は、原則、プログラムに記載の競技日程表にしたがって行われるが、試合の延長などにより遅延することがある。その場合は、会場内の記録掲示板に掲示される競技日程表に時間の変更を記載するので、選手及び関係者は、都度確認を行うこと。

11 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 各プール3位までの選手にメダルを授与する。また、ランプを使用する選手の場合、ランプオペレーターにも選手と同様にメダルを授与する。
- (3) スポーツアシスタント及びコーチ（監督又は監督兼務のコーチ）はメダル授与の対象外とする。
- (4) 表彰式は競技終了後、プール毎に競技会場で行う。

12 撮影

- (1) スポーツアシスタント・ランプオペレーター、コーチ（監督又は監督兼務のコーチ）による競技中の撮影は禁止する。
- (2) フラッシュ撮影は禁止する。

13 その他

- (1) 競技エリアへは、選手のほか、主催者や競技役員の許可を受けた関係者以外は立ち入ることができない。
- (2) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。

- (3) 競技エリアは土足禁止であるため、各自体育館シューズに履き替えること。なお、車いすの選手については、競技エリア入口に設置する粘着マットシートにてタイヤの汚れを落とすこと。
- (4) 競技エリアでは水分補給のみ認め、水分補給以外の飲食は禁止する。
- (5) 選手の控所は、指定された場所を利用すること。
- (6) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (7) 競技に関する不明な点は競技本部に、その他不明な点は実施本部に問い合わせる。